

平成 29 年 12 月 27 日

「知財ビジネス評価書」を活用した事業性評価による融資の取組みについて  
 ～当行第 4 号案件～

名古屋銀行（頭取 藤原 一郎）は、この度、株式会社知多リサイクル（代表取締役 加藤 日出機）様に対し、「知財ビジネス評価書」を活用して事業性評価を行い、融資いたしましたのでお知らせします。

「知財ビジネス評価書」は特許等の知的財産を切り口に第三者機関である評価機関が企業の事業内容を評価するものであり、特許庁では「知財ビジネス評価書」の普及と金融機関による活用を促すため評価書の作成支援事業を実施しております。

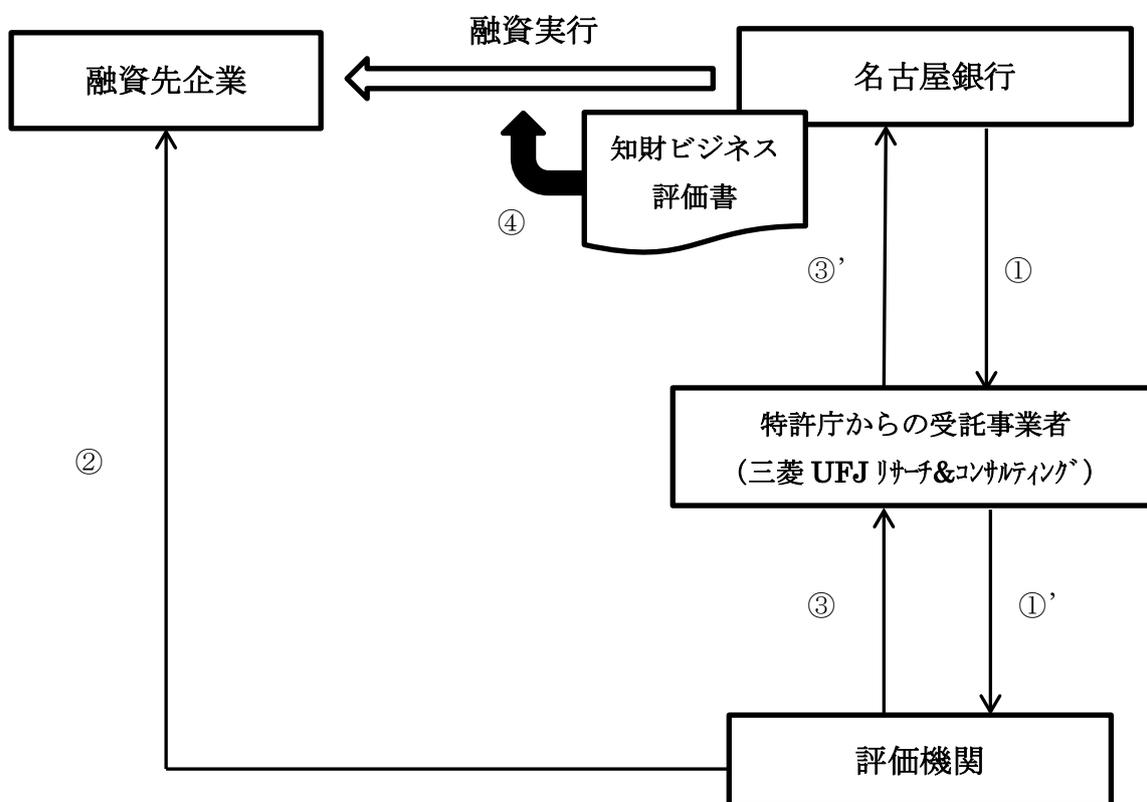
当行では、地元企業の円滑な資金調達をサポートするためこの事業に参画し、これまで 9 社の評価書作成に取り組んでおります。なお、同評価書を活用した融資は今回が第 4 号案件となります。

当行は、引続き地域の皆さまのニーズを捉えた情報・サービスの提供を行ってまいります。

【株式会社知多リサイクルの概要】

所在地	愛知県名古屋市港区昭和町 23 番地
代表者	加藤 日出機
設立	1994 年 2 月
業種	産業廃棄物収集運搬・処分業（廃タイヤのリサイクル業）
資本金	10 百万円
従業員	14 名
事業の特色	<p>廃タイヤ専門のリサイクル業者であり、中部地域から回収した後、自社工場で細かく破碎したタイヤチップを燃料として大口需要家に供給しています。</p> <p>廃タイヤの燃料化は、3R（Reduce:減らす、Reuse:繰り返し使う、Recycle:再資源化する）による環境負担の低減に繋がる取組みとして今後も期待されています。</p> <p>「知財ビジネス評価書」は、廃タイヤをより汎用性の高い固形燃料にリサイクルする技術において、当社が特許を取得している「固形燃料の製造方法及び装置」に対して高く評価しています。同社の技術は、今後の事業拡大においてポテンシャルを持っている知的財産と言えます。</p>

〈知財ビジネス評価書を活用した融資の流れ〉



- ① 名古屋銀行は、特許庁からの受託事業者である三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社に「知財ビジネス評価書」の作成を依頼します。三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社より特許庁指定の評価機関宛てに、調査及び「知財ビジネス評価書」作成を委託します。
- ② 評価機関は、調査対象となる企業に訪問し、事業に関するヒアリングや実地調査等を行います。
- ③ 評価機関は、ヒアリングや実地調査等に基づき「知財ビジネス評価書」を作成し、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社を通じて、名古屋銀行に送付します。
- ④ 名古屋銀行は、「知財ビジネス評価書」をもとに事業の現状や見通し等を多面的に把握した上で、融資の審査をいたします。

以上